



Q. 警察行政職は一言でいうとどういうお仕事ですか？



A. 地方公務員である、山形県職員として、警察専門の行政事務に従事します。

Q. 警察行政職員になるには、どの採用試験を受ければいいのですか？

A. 山形県人事委員会が実施する「山形県職員試験(大学卒業程度又は高校卒業程度)」の警察行政という試験区分を受験します。

Q. 警察官との違いはなんですか？

A. 警察行政職は、犯罪捜査や交通指導取締りなどに直接携わることはありませんが、そういった現場での警察活動が円滑に遂行されるように、物資の調達や出張等に伴う旅費の支給事務など、行政事務によるサポートを通じて安全・安心に携わります。様々な場面で、警察官と一緒に仕事に当たります。

Q. 勤務地はどうなりますか？

A. 警察本部を始めとする4庁舎のほか、県内14警察署のいずれかの所属に配属され勤務します。人事交流で、警察庁や県知事部局等で一定期間勤務する場合もあります。毎年、勤務地・勤務所属・勤務内容等、異動希望を調査する自己申告制度があります。これを基に本人の希望、能力、適正に応じて配属先が決定されます。

【給与】

【手当】 基本給のほかに、時間外勤務手当、扶養手当・住居手当・通勤手当・期末勤勉手当(民間のボーナスにあたるもの)などが支給されます。

ボーナス(年額)
6月と12月の2回

基本給(月額)
このほか各種手当が
加算されます。



※職員の人事評価や業務実績による昇任により、若干の差が生じる場合がありますが、おおむね図のとおり昇給します。

【採用試験】

受験申込	第1次試験	第2次試験(1回目)	第2次試験(2回目)	合格
【教養試験(SPI3)】 【教養試験・専門試験】(大卒程度) 【教養試験】(高卒程度)	【先行実施】 【大卒程度】 【高卒程度】	【論文試験・人物試験(適性検査)】(先行実施) 【論文試験・人物試験(適性検査)】(大卒程度) 【作文試験・人物試験(適性検査)】(高卒程度)	【人物試験(個別面接1,2)】(先行実施) 【人物試験(集団討論)(個別面接1,2)】(大卒程度) 【人物試験(個別面接)】(高卒程度)	採用候補者 名簿登載

※警察行政職は、山形県職員採用試験の試験区分の一つとなります。採用試験の受験申込では、試験区分を「警察行政」として申し込み必要があります。
 ※採用候補者名簿に登載された方に対して、採用にあたり意向確認を実施し、警察行政職への採用を希望する方は、原則として、翌年度の4月1日に採用となります。
 ※上記は、過去実施された採用試験を基に記載しており、今後の試験については変更されることがありますので、受験申込に当たっては、必ず受験案内をご確認ください。

【お問い合わせ先】

山形県警察本部警務課
〒990-8577 山形市松波 2-8-1 ☎023-625-0871

山形県人事委員会事務局
〒990-8570 山形市松波 2-8-1 ☎023-630-2782

警察の仕事や採用試験に関する不安や疑問があったら
相談窓口にご相談ください。

相談窓口 ☎023-625-0871

電話受付時間 平日8:30~17:15 pkeimu02@pref.yamagata.jp



山形県 警察行政職員 採用案内

LOVE AND PROTECT YAMAGATA



警察行政職の仕事紹介!!

警察のいろいろな部門で活躍しています!

警務・会計

組織の企画・運営や採用・昇任などの人事管理といった組織の基盤を支える業務のほか、職員の仕事管理、給与の支給、出張にかかる旅費の支給や警察活動で使用する物品購入契約など経理業務に従事します。



交通・運転免許

運転免許に関する試験の実施や運転免許証の作成・交付、更新手続などを行います。このほか総合交通安全センターでは適性検査や各種講習など、運転免許に関する事務を担当しています。



情報管理・開発

捜査活動の支援や職員の勤務管理など警察活動を支えるシステムを開発し、その運用・保守に当たります。また、警察活動で使用するパソコンやネットワークの整備、情報管理に関する指導教養を行います。



交通安全

運転適性診断や交通関係団体と協力した交通事故防止活動の推進、信号機や標識の設置など交通安全施設を担当し、安全でスムーズな交通環境を作ります。



指紋資料の鑑定

鑑識課に勤務する警察行政職員は、公判にも対応できる高度で専門的な知識を習得し、指紋資料の収集や鑑定業務を行い、事件解決に貢献します。



犯罪捜査の支援

犯罪手口の分析や防犯カメラ画像の収集・解析、犯罪統計などの業務に関わり、犯罪捜査を支援する業務に従事します。



警察行政職にしかできない仕事がある!

警察学校

※カリキュラムを含む訓練等は一例となります。
※警察学校での共同生活を通じて、同期で拜命した警察官との融和を深めます。

授業カリキュラム

【職務倫理】 ○訓育 ○社会情勢と警察改革 ○堅実な私生活等	【法学】 ○憲法 ○地方自治法 ○刑事訴訟法 ○民法等	【基本実務】 ○警察の組織と責務 ○服務 ○文書作成管理等	【専門実務】 ○警察会計 ○給与厚生 ○警察の現状と課題等	【その他】 ○諸行事 ○実務研修等
--	--	---	---	--------------------------------

入校期間

採用後、約1ヶ月間、警察官と一緒に天童市荒谷にある警察学校に入校します。警察学校は、警察職員に必要な基礎的知識の修得へ向けた教養を受ける場であり、毎日を規則正しい生活リズムで過ごし、心身を整える場でもあります。また、授業以外は男女別での寮生活となります。



Q. 警察学校での警察官との違いは?

A. 警察行政職は、県民の視点に立った警察活動のあり方や職務倫理の基本などを学びます。警察官の剣道や柔道などの術科の授業はありませんが、同じく採用された警察官と寝食を共にし、お互いに現場勤務に向けて勉強します。

警務部

>会計課

各所属の要望を踏まえた予算の編成、物品の購入、会計手続に関する指導・審査、警察施設の整備計画の策定・管理などを行います。

>警務課

警察活動のデジタル化推進、装備品の管理・運用、警察組織の整備や採用・昇任等の人事管理による人的基盤の整備などを行います。

>厚生課

福利厚生や健康管理、公務災害補償、社会保険事務、住宅資金等の貸付、退職年金や休業手当給付等の共済事業などを行います。

>人材育成課

採用・昇任時や各部門のスペシャリスト育成の研修計画の策定、全職員の実務能力を向上させるための教養や指導などを行います。

生活安全部

>生活安全企画課

質屋、古物、風俗営業、銃砲刀剣類、火薬類などの許可届出に関する相談に対応するほか、その届出が法令に違反することがないか審査などを行います。

刑事部

>捜査支援分析課

犯罪手口の分析や防犯カメラ画像の収集・解析、犯罪統計などの業務に関わり犯罪捜査の支援を行います。

>鑑識課

公判にも対応できる高度で専門的な知識を修得し、指紋資料の収集や鑑定業務などを行います。

交通部

>交通企画課

交通安全教育として運転適性診断を行うほか、交通関係団体と協力して、交通事故防止活動を推進します。

>交通指導課

交通関係法令に基づいて、歩行者や車両の安全な通行の妨げとなる交通違反や違法駐車対策に関する業務を行います。

>交通規制課

信号機に関わる業務として、老朽化に伴う倒壊事故防止等の維持管理、交通の安全と円滑を図るための改良、設計業務を行います。

>運転免許課

運転免許証の作成や交付事務、免許関連の学科・技能試験や各種講習の実施など多岐にわたる業務を行います。

運転免許課員のとある1日



勤務条件

勤務時間原則

午前8時30分から午後5時15分まで

休日完全週休2日制

配属先によっては、3交替制勤務となる場合があります。

年次有給休暇

年間20日付与
残日数の翌年繰越限度20日
最大40日取得可

特別休暇

夏期休暇6日
一定の期間、業務の都合などを考慮して自分で休暇を取得する日を決めます。

仕事と私生活

女性職員 育児休業取得率

100%

男性職員 育児休業取得率

66.7%
(令和6年度)

男性職員の配偶者出産休暇 育児参加休暇5日以上取得

80.0%
(令和6年度)

福利厚生

職員専用 アパート完備

民間アパートでも、家賃の一部に手当が支給されます。

資格取得 育児や介護の助成 警察共済・保険制度 の充実

ライフプラン 研修会

結婚や出産等のライフプランに応じて自分のライフプランを見直しできる

Q. 働きながら育児できる環境にありますか?

A. 各種制度を利用して、育児をしながら活躍している職員がたくさんいます! 女性職員の場合は、「妊娠」「出産」「育児」までの期間についての休暇があり、妊娠に伴う休暇、産前産後休暇、育児休業、育児短時間勤務制度、子の看護休暇、子育てに伴う時間外・深夜勤務の制限などたくさんの職員が利用し、育児と仕事が両立できる環境が整っています。男性職員も、配偶者出産休暇や女性と同じく育児休業、育児短時間勤務制度、子の看護休暇、子育てに伴う時間外・深夜勤務の制限を取得して、仕事と家庭を両立させる制度があります!